

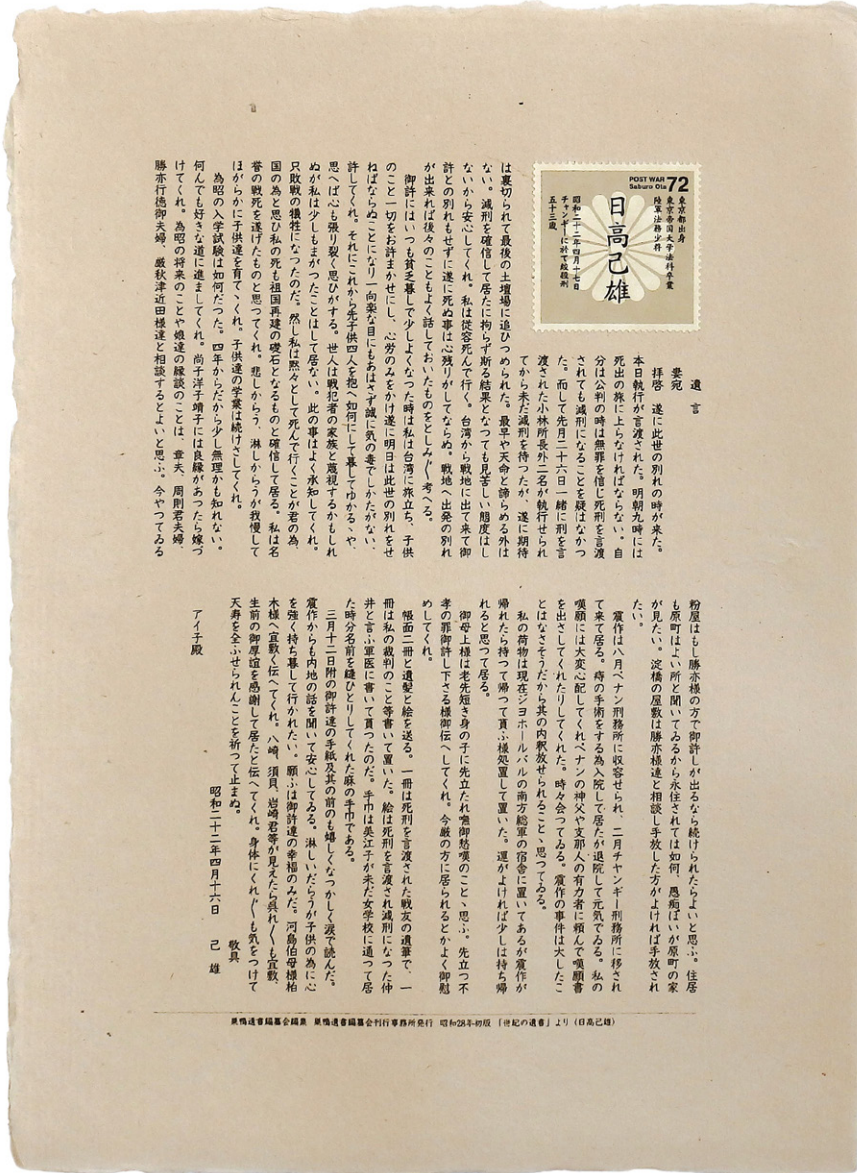
# 《特別展》託したものの届かぬ思い

先の戦争では、非常に多くの方が生命を失い、傷を負い、大切な家族を失いました。一般市民でありながら空襲によって犠牲となった人々、兵士や軍属として戦争に参加することによって亡くなられた人々。そして大事な人を失ってしまった人々。岡山空襲展示室はこうした記憶と記録を守り、未来に伝えることにより、平和への思いが皆様の胸にいだかれることを目標とし、平成24年10月1日に開室しました。

本年、新しいころみとして、こうした戦争のいたみを鋭く私たちに問いかける「POST WAR」シリーズなどの作品を継続して制作してきた太田三郎、戦争未亡人を丹念に取材し、彼女たちの現在の姿から過去を考えさせる写真を撮影してきた柴田れいこの作品をご紹介します。展覧会を開催します。

岡山初公開となる太田三郎の「世紀の遺書」は、BC級戦犯として処刑された人々が遺した遺書を扱った作品です。また、柴田れいこの作品は、取り残された未亡人たちの、長年積み重ねた思いとその後の人生を写し取っています。

戦争によってその人生を失った人々と、亡くなられた人をも今も待っている人々。多くの人々の伝えたい思い、伝えられなかった思い。こうした哀しみに鋭い視線をあてた作品は、理屈をこえて私たちにその痛みを伝えてくれます。もしかすると、戦争を知らない現代の私達はこうした作品によってのみ、歴史的な事実の中に落とし込めない人間の感情を感じることができるのかもしれませんが。このころみを通じて、皆様の心の中に、平和のたねがひろがり芽吹いていくことを希望します。



太田三郎  
「POST WAR 72 世紀の遺書」より  
日高己雄  
東京都出身  
東京帝国大学法科卒業  
陸軍法務少将 昭和22年4月17日  
チャンギーに於て絞殺刑 53歳  
横野和紙にレーザープリント  
縦約29.7cm×横約21.0cm

- ◆会期：平成30年12月5日(水)～平成31年2月11日(月・祝) ◆開室時間：午前10時～午後6時  
休室日/月曜日、平成31年1月1日、1月15日(ただし12月24日、1月14日、2月11日は開室)
- ◆会場：岡山空襲展示室 (岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム5階) 電話086-253-7070
- ◆主催：岡山市 ◆後援：岡山市教育委員会 岡山県教育委員会 ◆入場料：無料
- ◆出品者：太田三郎(美術家) 柴田れいこ(写真家)
- ◆主な出展予定作品 太田三郎「世紀の遺書」シリーズ20点(平成29年8月発表、岡山初公開)  
柴田れいこ「届かぬ文」シリーズ54点(平成27年発表)
- ◆オープニングトーク：平成30年12月5日(水) 10:00～展覧会会場にて 講師/太田三郎 柴田れいこ
- ◆トークイベント：平成31年1月26日(土) 14:00～岡山シティミュージアム4階講義室 講師/太田三郎 柴田れいこ
- ◆ワークショップ：「届けたい手紙」会場内にポストを置きます。作品へ思いを寄せて、手紙を書いて投函してください。投函された手紙は、会期中掲示します。なお、手紙は返却しません。

EXHIBITION ROOM OF THE OKAYAMA AIR RAIDS **岡山空襲展示室**



「世紀の遺書」は、第二次世界大戦で日本が降伏した後、連合国から戦争犯罪容疑者として国際軍事法廷で裁かれ「戦争犯罪者」として、日本及び外地で亡くなった人々の遺書を可能な限り収集し、編纂した遺稿集である。巣鴨プリズン内に置かれた「巣鴨遺書編纂会」の呼びかけで遺族などから遺書や遺稿が寄せられ、多くの人の協力と援助によって1953年(昭和28年)に初版4,000部が出版された。戦犯死没者約1,000名の亡くなった場所は、日本、中国、蘭領東印度、ビルマ、香港、豪州、仏領印度支那、比島、グアム島など、広汎にわたる。また大将から工員、民間人まで階級もさまざまである。軍属や通訳であった朝鮮・台湾出身者45名も含まれ、同書に掲載された遺書ないし遺稿は701篇にのぼった。この書により、それまであまり知られていなかったBC級戦犯の存在に世間の注目が集り、1年で4版を重ねて延べ13,000部を数えた。また1984年(昭和59年)には、講談社で復刻版が出版され重版した。

「世紀の遺書」には、祖国敗戦の悲しみに加え、「人道の敵」と裁かれて命を断たれた戦争犯罪者の苦悩が綴られている。多くは身の潔癖を叫び、肉親の恩愛に慟哭し、また「死」の解決に苦心惨憺しつつも遂には恩讐を越えて祖国と世界への祈りに到達している。私は第二次世界大戦に題材を得た「POST WARシリーズ」を四半世紀にわたり制作してきた。「POST WAR 46-47 兵士の肖像」「POST WAR 50 私は誰ですか」「POST WAR 54 被爆地蔵」「POST WAR 55 被爆樹」「POST WAR 56 無言館」「POST WAR 60 被爆者」「POST WAR 62 軍人像」「POST WAR 66 戦災痕」「POST WAR 68 戦ノ碑」「POST WAR 69 戦争遺児」に続くシリーズ11作目になる「POST WAR 72 世紀の遺書」は、文字を読みやすくするために、これまでのような切手シートとは異なる体裁にした。また兵士の心情そのものを初めて取りあげる作品になった。戦後72年となり、戦争の実態がますます判りにくくなっている今こそ、戦争犯罪者の死から多くを学ぶためにも「世紀の遺書」が再び読み継がれることを強く願うものである。

太田三郎



2017年展示風景 写真提供：コバヤシ画廊

太田三郎 Ota Saburo

1950年山形県鶴岡市(旧海浜町)生まれ 1994年から岡山県津山市在住

近年の主な個展

- 2000年「存在と日常」CCGA 現代グラフィックアートセンター/福島 「2000-2001 太田三郎」西宮市大谷記念美術館/兵庫
- 2007年「太田三郎 On the Beach 1987-2007」奈良町現代美術館/岡山
- 2008年「太田三郎 HIROSHIMA 1990-2008」「有隣荘・太田三郎・大原美術館」大原美術館/岡山 「太田三郎-日々」山形美術館/山形
- 2014年「市民交流プログラム 集めることはアートになる!」鶴岡アートフォーラム/山形 「太田三郎 2011-2014」奈良町現代美術館/岡山

作品の公的コレクション

- 文化庁 国際交流基金 東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 東京都現代美術館 和歌山県立近代美術館 徳島県立近代美術館 岡山県立美術館 横浜美術館 山形美術館 町田市立国際版画美術館 西宮市大谷記念美術館 美濃加茂市民ミュージアム 大原美術館 広島市現代美術館 板橋区立美術館 奈良町現代美術館 斎藤記念川口現代美術館 北海道立帯広美術館 CCGA現代グラフィックアートセンター 切手の博物館 フィラテリーセンター 神奈川芸術文化財団 環境芸術ネットワーク 虹の美術館 アルベルティーナ版画美術館/オーストリア 国立ドレスデン版画素描館/ドイツ 釜山市立美術館/韓国 ソウル国立現代美術館/韓国 受賞歴
- 2013年 第4回「創造する伝統賞」 第14回(平成24年度)岡山芸術文化賞グランプリ
- 2016年 第74回「山陽新聞賞/文化功労」 第17回「福武文化賞」
- 2018年 平成30年度 地域文化功労者文部科学大臣表彰



江草忠義  
岡山県出身 元公務員  
元憲兵伍長 昭和21年12月17日  
ベナンに於て絞殺刑 23歳



岩広一二  
鹿児島県出身 元農業  
元輜重兵伍長 昭和22年8月22日  
広東に於て死刑 27歳



緑川 寿  
栃木県出身  
陸軍大尉 昭和21年7月15日  
ラングーンに於て銃殺刑 29歳



野口秀夫  
愛知県出身 元店員  
元陸軍通訳 昭和22年9月6日  
アンボンに於て銃殺刑 31歳



菅原亥三郎  
山形県出身 元農業  
元海軍上等兵曹 昭和22年4月1日  
マニラに於て絞殺刑 36歳



星 愛喜  
東京都出身 東京高等師範学校卒業  
陸軍大尉 昭和22年2月25日  
チャンギーに於て絞殺刑 49歳



日高己雄  
東京都出身 東京帝国大学法科卒業  
陸軍法務少将 昭和22年4月17日  
チャンギーに於て絞殺刑 53歳



平野庫太郎  
宮崎県出身 陸軍士官学校卒業  
元陸軍大佐 昭和24年2月12日  
巢鴨に於て絞殺刑 65歳



岡山市北区駅元町15-1  
岡山シティミュージアム5階  
岡山空襲展示室  
TEL 086-253-7070  
JR岡山駅から東西連絡通路で直結  
岡山空襲展示室



# 《特別展》 託したもの 届かぬ思い

先の戦争では、非常に多くの方が生命を失い、傷を負い、大切な家族を失いました。一般市民でありながら空襲によって犠牲となった人々、兵士や軍属として戦争に参加することによって亡くなられた人々。そして大事な人を失ってしまった人々。岡山空襲展示室はこうした記憶と記録を守り、未来に伝えることにより、平和への思いが皆様の胸にいだかれることを目標とし、平成24年10月1日に開室しました。

本年、新しいこころみとして、こうした戦争のいたみを鋭く私たちに問いかける「POST WAR」シリーズなどの作品を継続して制作してきた太田三郎、戦争未亡人を丹念に取材し、彼女たちの現在の姿から過去を考えさせる写真を撮影してきた柴田れいこの作品をご紹介します。展覧会を開催します。

岡山初公開となる太田三郎の「世紀の遺書」は、BC級戦犯として処刑された人々が遺した遺書を扱った作品です。また、柴田れいこの作品は、取り残された未亡人たちの、長年積み重ねた思いとその後の人生を写し取っています。

戦争によってその人生を失った人々と、亡くなられた人を今も待っている人々。多くの人々の伝えたい思い、伝えられなかった思い。こうした哀しみに鋭い視線をあてた作品は、理屈をこえて私たちにその痛みを伝えてくれます。もしかすると、戦争を知らない現代の私達はこうした作品によってのみ、歴史的な事実の中に落とし込めない人間の感情を感じることができるのかもしれませんが。このこころみを通じて、皆様の心の中に、平和のたねがひろがり芽吹いていくことを希望します。



柴田れいこ  
「届かぬ文」より  
松田つる代  
大正3年9月1日生まれ  
岡山県津山市在住  
結婚生活約13年 子供6人  
長男夫婦、孫夫婦、曾孫2人との7人暮らし  
平成25年3月16日撮影

◆会期：平成30年12月5日(水)～平成31年2月11日(月・祝) ◆開室時間：午前10時～午後6時

休室日/月曜日、平成31年1月1日、1月15日(ただし12月24日、1月14日、2月11日は開室)

◆会場：岡山空襲展示室(岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム5階) 電話086-253-7070

◆主催：岡山市 ◆後援：岡山市教育委員会 岡山県教育委員会 ◆入場料：無料

◆出品者：太田三郎(美術家) 柴田れいこ(写真家)

◆主な出展予定作品 太田三郎「世紀の遺書」シリーズ20点(平成29年8月発表、岡山初公開)

柴田れいこ「届かぬ文」シリーズ54点(平成27年発表)

◆オープニングトーク：平成30年12月5日(水) 10:00～展覧会場にて 講師/太田三郎 柴田れいこ

◆トークイベント：平成31年1月26日(土) 14:00～岡山シティミュージアム4階講義室 講師/太田三郎 柴田れいこ

◆ワークショップ：「届けたい手紙」会場内にポストを置きます。作品へ思いを寄せて、手紙を書いて投函してください。投函された手紙は、会期中掲示します。なお、手紙は返却しません。

EXHIBITION  
ROOM OF  
THE  
OKAYAMA  
AIR RAIDS

## 岡山空襲展示室



戦後70年の節目にあたる年、あの太平洋戦争の時代を生きた最後の世代である「戦没者の妻」と呼ばれる女性たちの姿を通して、私は今一度あの戦争を振り返ってみたいと思いました。赤紙1枚で夫を戦場に奪われた彼女たちは、愛する者の無事をただ祈り帰還を信じて、苦しい生活に耐え待ち続けました。「夫はある夜突然に出兵して行きました。真っ暗闇で連隊の姿は見え、ザックザックという足音だけを聞きました。それから夜中に足音がする度に、もしやと飛び起きて待ちましたが、二度と戻ってくることはありませんでした。」(大塚芳枝さん)彼女たちはどうてい言い表すことのできない悲しみを抱えて、それでも生きなければなりませんでした。

当時は、一人の女性として生きることより「家制度」の方に重きをおかれた時代でした。まだ二十代三十代だった彼女たちは、一家の跡取りを亡くした婚家で「もう思い出したくない」という程の苦難に耐え、子供のため家のために生きてきました。男手の無い家で、一人で牛を引、田を耕し、肥えを運び、山仕事に出て、女であることを忘れて働かざるをえなかった方々が多くいました。もう会うことも文を交わすこともできない恋しい夫を想い、耐えて耐えて、耐えきれない時には秘かに涙を流した夜もあったことでしょう。それでも彼女たちは前を向いて生きてきました。

私は3年間をかけて、地元岡山県内の54人(88歳~102歳)の方々にお会いし、貴重なお話を聞かせていただくことができました。多くの方は今ではご苦勞の甲斐あって、お子様(ご遺児)たちは立派になられ、人生の晩年を穏やかに過ごされています。「朝から晩まで働きづめの日々でした。学校の行事にも行けず、子供たちに寂しい思いをさせました。」(松田つる代さん)と振り返られ、また、「戦争は絶対にいやです。悲しい戦争があって母も子も苦しんだということ、月日が経ってもいつまでも忘れたいと思います。」(服部茂美恵さん)と静かに語られていました。

私は決してあの戦争を風化させてはならないという強い思いで取材を続けました。二度と戦争を起こさない世の中であることを強く願います。つらい思いを振り返りながらもお話を聞かせて下さった54人の皆様方に心より感謝申し上げます。そして、あの戦争で尊い命を亡くされた全ての方々のご冥福を、心よりお祈り致します。

柴田れいこ

柴田れいこ SHIBATA Reiko

1948年 岡山県生まれ  
2001年 大阪芸術大学写真学科入学  
2005年 大阪芸術大学写真学科卒業  
日本写真協会会員

個展

2005年 「天女の羽衣」(団塊世代の女たち)  
銀座ニコンサロン/東京 大阪ニコンサロン/大阪  
2009年 「天女の羽衣」(団塊世代の女たち) ギャラリー・トムテの森/岡山  
2010年 「sakura.さくら」(日本人と結婚した外国人女性たち)  
新宿ニコンサロン/東京 大阪ニコンサロン/大阪  
岡山県天神山文化プラザ/岡山  
2012年 「写真のなかのわたし」 奈義町現代美術館/岡山  
2015年 「届かぬ文(ふみ)」(戦没者の妻たち) 奈義町現代美術館/岡山  
銀座ニコンサロン/東京 大阪ニコンサロン/大阪  
2016年 「届かぬ文(ふみ)」(戦没者の妻たち) さんかく岡山/岡山  
グループ展  
2002年 大阪芸大グループ展 大阪ビジネスパーク/大阪  
2005年 大阪芸大卒業制作選抜展 大阪富士フォトサロン/大阪  
po16人展 ギャラリー・シード/岡山  
2010年 北方系展 アルネ津山ギャラリー/岡山  
2013年 美作建国1300年「美作の美術展」 岡山県立美術館/岡山  
写真集  
2010年 「sakura.さくら」(日本カメラ社)  
2015年 「届かぬ文」(蒼穹舎)



近藤常子  
大正4年1月27日生まれ 岡山県倉敷市在住  
結婚生活約10年 子供3人 三男夫婦と3人暮らし 平成25年11月15日撮影



木村 園  
大正6年10月16日生まれ 岡山県津山市在住  
結婚生活約2年 子供1人 長男夫婦と3人暮らし 平成24年9月14日撮影



福田静子  
大正6年5月28日生まれ 岡山県久米郡在住  
結婚生活約6年 子供1人 長男夫婦と3人暮らし 平成25年8月27日撮影